
豊岡市地域デザインプラン

【城崎・港地域】



令和4年（2022年）3月

地域デザイン懇談会の経過（城崎・港地域）

開催日	会場・人数	テーマ	概要	議事概要	
				WSの結果	アンケートの結果
第1回 3月18日 (木) 19:00~	■会場： 城崎庁舎 ■参加人数： 21名	公共施設に対する意識共有	ランダム(5テーブル)に分かれて、城崎・港地域にある公共施設を5つの指標を用いて定性的に評価した。	・各施設への定性的な評価が比較された。 ・各施設の評価や利用状況について意見があった。	・公共施設マネジメントについて概ね理解ができたという意見が多かった。 【自由意見抜粋】 市の重大な課題について知ることができた。等
第2回 7月7日 (水) 19:00~	■会場： 港地区 コミュニティセンター ■参加人数： 18名	ライフスタイルイメージの確認	ランダム(5テーブル)に分かれて、公共施設と自身の生活との関わりから課題を整理した。	・施設、サービス以外にも思いや経緯についてなどさまざまな意見があった。 ・港西小学校についての意見がたくさんあった。	・気になる建物として港西小学校を挙げた人が多かった。 【自由意見抜粋】 さまざまな意見が聞けて楽しかった。等
第3回 8月5日 (木) 19:00~	■会場： 城崎庁舎 ■参加人数： 11名	必要な施設、市民サービスの整理	年齢別(3テーブル)に分かれて、公共施設の機能集約に向けてアイデアを出し合った。	・各テーブルで、機能集約についてのアイデアについて話合った。 ・健康福祉センター、アートセンターについての意見が多くあった。	【自由意見抜粋】 ・サービスは低下させないようにしてほしい。 ・施設が大きな地区に偏らないようにしてほしい。等
第4回 10月12日 (火) 19:00~	■会場： 城崎庁舎 ■参加人数： 17名	必要な施設、市民サービスの整理	年齢別(5テーブル)に分かれて、施設の平面図を使用し、公共施設の削減目標を意識し、公共施設のあり方について対話した。	・文芸館と麦わら細工伝承館を統合する意見が多くあった。 ・木屋町小路を民間へ委託するという意見が多くあった。	【自由意見抜粋】 ・集約しすぎると過疎になる。 ・集約は機能向上に繋がるので必要。等
第5回 11月15日 (月) 19:00~	■会場： 港地区 コミュニティセンター ■参加人数： 15名	公共施設再編モデルケースの検討	年齢別(5テーブル)に分かれて、公共施設の削減目標を意識した公共施設のあり方について対話し、全体で共有した。	・各テーブルで提案のメリットデメリットを考え、全体で共有した。 ・文芸館と麦わら細工伝承館の統合、木屋町小路の民間委託、市営住宅の集約という意見があった。	【自由意見抜粋】 ・両地区民で大いに議論して目標を見出した。 ・たくさんの人で話し合うことは大事だと思いました。等
第6回 12月6日 (月) 19:00~	■会場： 城崎庁舎 ■参加人数： 16名	城崎・港地域デザインプラン案の作成	年齢別(5テーブル)に分かれて、公共施設の在り方について、これまでのアイデアを踏まえて対話した。	・各公共施設のアイデアに対するコンセプトや、まとめについて対話を行なった。	・公共施設に関する考え方は、変わった、やや変わったの合計が約7割であった。 【自由意見抜粋】 全6回参加しました。非常に有意義でした。等

豊岡市地域デザインプラン【城崎・港地域】

目次

1. 地域デザインプラン作成の趣旨
 - (1) 豊岡市の公共施設の現状と課題
 - (2) 地域デザイン懇談会の趣旨
 - (3) 地域デザインプラン作成の趣旨
2. 公共施設と共に歩む市民生活の将来像
3. 地域デザイン懇談会で生まれた公共施設へのアイデア
 - (1) アイデア一覧

1. 地域デザインプラン作成の趣旨

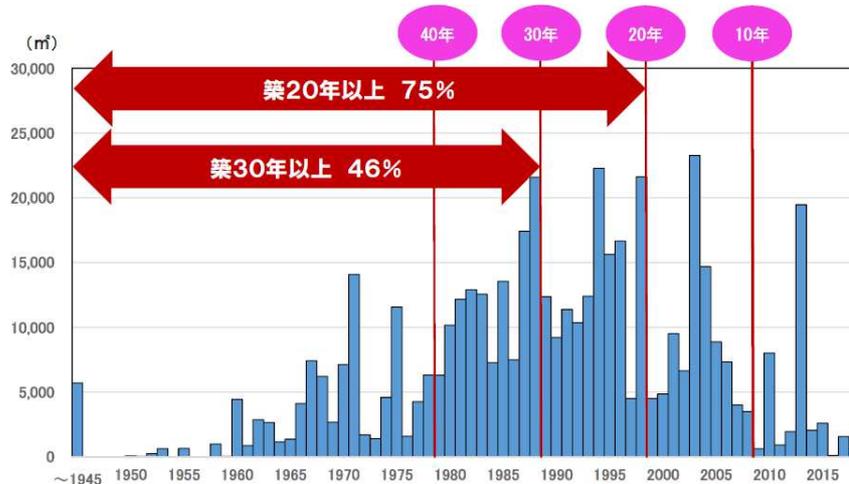
(1) 豊岡市の公共施設の現状と課題

■人口減少による財政への影響

- ・ 働き盛り世代の減少により税収が減少し、また市町合併で優遇されてきた普通交付税が縮減となった。今後、建替えなどに対する財源が一層不足する。

■保有量が多く老朽化する施設

- ・ 574 施設、総延床面積 48.7 万㎡(市民一人当たり 5.6 ㎡)を保有している。
- ・ 築 30 年を経過した公共施設が 2019 年時点で 46%あり、10 年後にはその割合が 75%になるため、今後多くの施設で改修や建替えの時期が到来する。
- ・ 現在の施設をそのまま維持・更新する場合の費用を試算すると、今後 40 年間で総額 1,828 億円(年平均約 46 億円)が必要となる。



公共施設の築年別整備状況

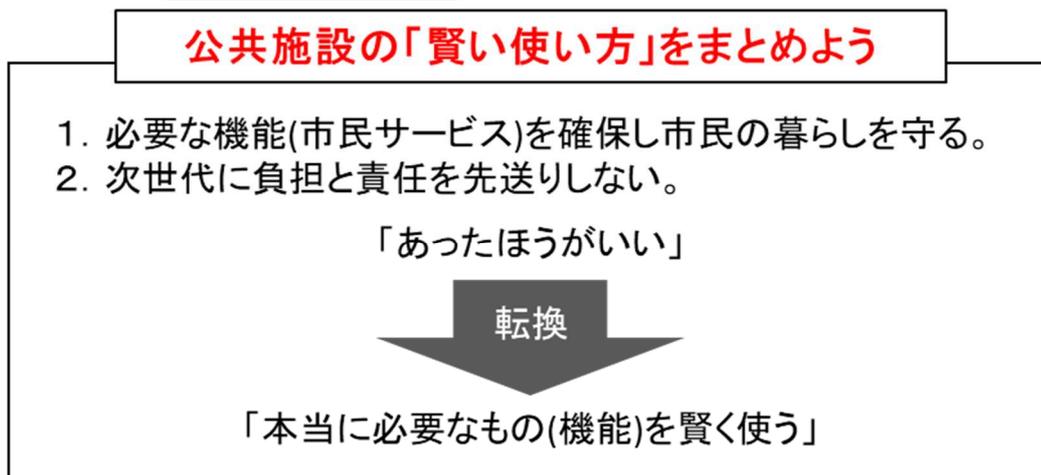
■施設保有量の数値目標

- ・ 施設の更新に必要な約 46 億円に対して、充当できる経費は 21.2 億円/年(長期財政見通し (2016 年 5 月公表)から試算)である。
- ・ 不足額の解消のためには、長寿命化(施設を有効活用して長く使用)とあわせて、40 年間で公共施設の延床面積を 34%削減することが必要となる。

今後の方針	条件	1年あたりの更新費用	40年間の更新費用の総額
長寿命化+ 延床面積の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建替え 80 年 ・ 大規模改修 40 年 ・ 延床面積 34%削減 	21.2 億円	849 億円

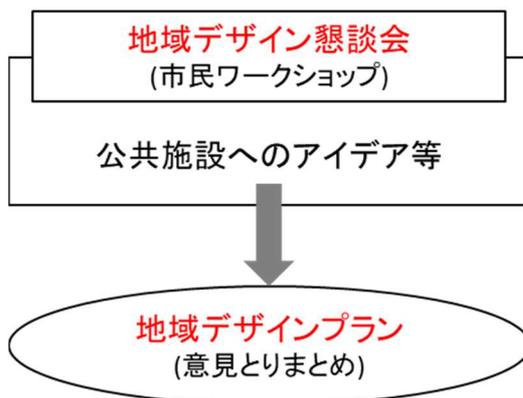
(2) 地域デザイン懇談会の趣旨

地域のまちづくりや賑わいづくりを見据えながら、地域に必要な施設・公共サービス提供機能について、ワークショップを通して対話を行うため、旧市町単位を基本に地域デザイン懇談会を開催した。



(3) 地域デザインプラン作成の趣旨

地域デザイン懇談会(市民ワークショップ)での対話を通じて生まれた、地域内の公共施設へのアイデア等を、地域デザインプランとしてとりまとめ、今後の協議やプラン推進に活用する。



2. 公共施設と共に歩む市民生活の将来像

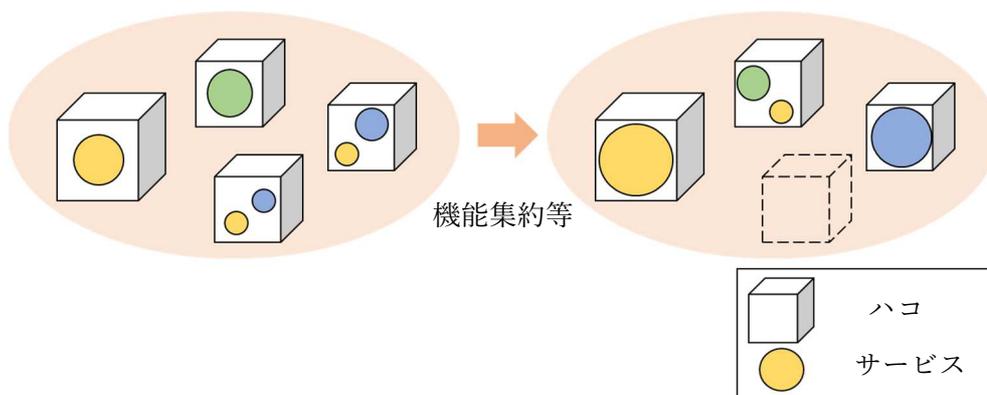
■これからの将来像「市全体」

公共施設をスリム化しよう！

～無駄を減らし、心豊かに生きていくための小さな工夫を集めよう～

■基本的な考え方

公共施設のハコは減らしても、サービス(機能)は減らさない。



■スリム化のポイント

本来の目的である「公共施設の費用の削減」のために、「公共施設の面積の削減」を指標として代用し、公共施設のスリム化を考える。

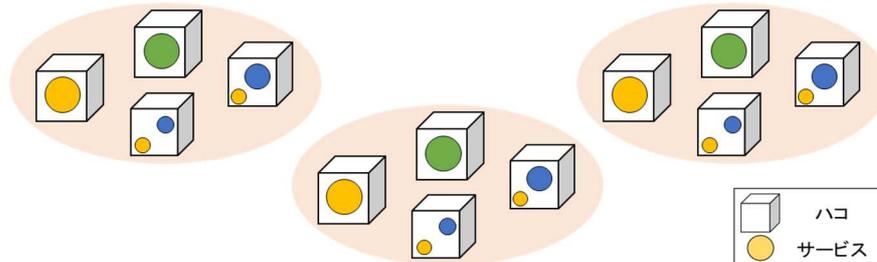


- 面積が減った割に費用が削減されない
- 面積が減った以上に費用が削減される

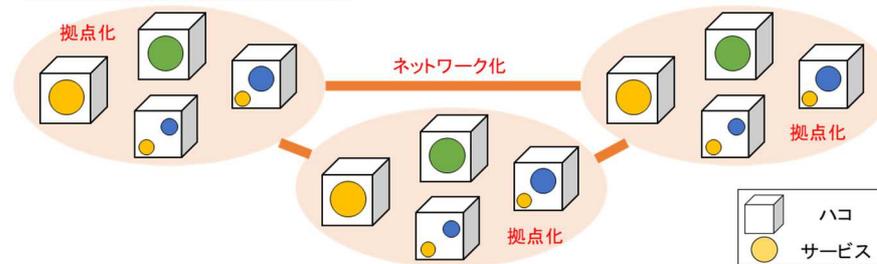
■これからの方向性

公共施設のスリム化のために、それぞれの公共施設の拠点化と機能のネットワーク化を図ることで、機能集約等が進み、公共施設のハコは削減され、本当に必要な機能のみが公共施設に残る。

STEP1 現状



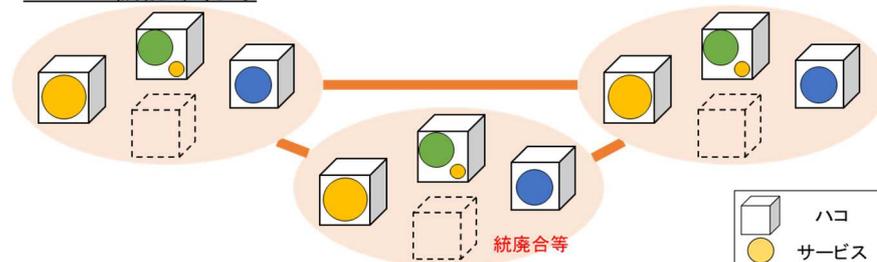
STEP2 拠点化とネットワーク化



<具体例>

機能のネットワーク化：全スポーツ施設の空き状況をネットサイトで予約
 拠点化：図書館の書物を整理する実行委員会議の開催を拠点施設で開始

STEP3 機能集約等



<具体例>

統廃合等：スポーツ施設の利用頻度に応じたハコの統廃合
 ：図書館の拠点化とハコの統廃合

■ 公共施設の再編に係る手法(例)

(1) 機能や施設は必要だが、保有する施設の規模や施設数を削減する必要のある施設

<p>① 統廃合</p>	<p>・設置目的が同じである同一機能をもつ複数施設を、利用状況や近接性等を考慮して統合</p>	
<p>② 多機能化 (複合化)</p>	<p>・独立施設である必要のない施設のもつ機能を地域の拠点施設に移転し、設置目的が異なる施設を複合的に利用</p>	
<p>③ 類似機能の共用化</p>	<p>・設置目的は異なるが、会議室等の類似する機能をもつ複数施設を、利用状況や近接性等を考慮して統合</p>	
<p>④ 広域化</p>	<p>・国、県、近隣市町との広域連携により、地域外の住民も利用可能な施設を共同保有・相互利用</p>	

(2) 機能は必要だが、施設を保有する必要のない施設

<p>① ソフト化 (民間移管)</p>	<p>・施設を民間事業者に譲渡する、または施設を廃止し、市民には民間施設を利用してもらう。 ・自治会等に施設を譲渡する。</p>	
<p>② ソフト化 (代替サービス)</p>	<p>・情報通信技術等を用いることにより施設を用いないサービス提供方法へ変更する。</p>	

3-(1). 地域デザイン懇談会で生まれた公共施設へのアイデア一覧

ここでは、地域デザイン懇談会の各回で出された意見、検討した内容をもとに、公共施設をマネジメントする、すなわち面積を削減したり、費用を低減したりという観点に基づいたアイデアをとりまとめました。

豊岡市の地域デザインプランの中心をなす内容となります。

今後は、ここで整理された内容、アイデアも採り入れながら、公共施設のマネジメントが進められることとなります。

地域デザイン懇談会では、公共施設再編計画の対象施設のうち、小規模なものを除いて検討の対象としました

「参考意見」には、地域デザイン懇談会の参加者から出された意見の内、
 ・施設の維持、再編等に関するアイデア
 ・現状の利用の改善方法 等

「参考資料」には、地域デザイン懇談会のどの回で出た意見を元にアイデアなどを整理しているのかを記載しています。詳しくは市ホームページの各回配布資料をご覧ください

公共施設の分類		施設名称	議論に至った背景・理由 (利用状況など)	参考意見	アイデア	参考資料
大分類	中分類					
01行政系施設	01庁舎等	城崎振興局	<ul style="list-style-type: none"> ■近くて便利 ■駐車場が狭い ■福祉関係の相談がしやすい ■災害時に役に立つ ■港からは近い 		【アイデア】 コンセプト:行政・福祉・文化施設の統合-「統合」 ■健康福祉センターと市民センターを統合し、城崎振興局に集約	第2回WSまとめ 第5回WSまとめ
	03消防施設	城崎分署	<ul style="list-style-type: none"> ■豊岡より早く来てくれる ■港・城崎協力して来てくれる 		「継続」	第2回WSまとめ
02市民文化系施設	04公民館	城崎地区 コミュニティセンター		■城崎と港地区は風土・経済・気質等が異なる	【アイデア】 コンセプト:コミュニティセンターは地域に一つという状態を堅持する-「継続」 ■コミュニティセンターはそれぞれ現在の場所に残す	第2回WSまとめ 第3回WSまとめ 第4回WSまとめ 第5回WSまとめ
		港地区 コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> ■コミュニティ組織 →部が6つあって事業をしている ■災害時の避難場所として良い施設 ■トイレも空調もよい ■港西地区からは車がないと来れない ■港西いは港東に行かないぞというプライド 			

豊岡市公共施設再編計画や公共施設カルテで整理されている施設分類を記載しています

「議論に至った背景・理由」には、地域デザイン懇談会の参加者から出されたその施設への意見の内、
 ・各施設の状況(ハード面)や利用実態(ソフト面)
 ・地域の中での認識度
 ・利用者、市民の施設に対する意向 等
 の現在の立地条件や利用状況等、議論する上での施設の背景に関する情報、参加者の生の声を記載しています

「アイデア」には、左欄の「議論に至った背景・理由」「参考意見」をもとに検討した、
 ・公共施設の面積削減などのハード面での方向性
 ・公共施設の効率的効果的な使い方(ソフト面)
 ・市民の利用促進の方法 等
 将来にわたって公共施設をマネジメントする(面積削減・費用低減等)ための市民目線、利用者目線でのアイデアを記載しています
 ただし、ここでの記載は、特定の施設に関するアイデアとしてとりまとめたものではなく、施設大分類又は中分類に該当する施設に関するアイデアとして整理しています
 併せて「コンセプト」として、公共施設の方向性を一言で表象することとしています

3-(1)地域デザイン懇談会で生まれた公共施設へのアイデア一覧

公共施設の分類		施設名称	議論に至った背景・理由 (利用状況など)	参考意見	アイデア	参考資料
大分類	中分類					
01行政系施設	01庁舎等	城崎振興局	<ul style="list-style-type: none"> ■ 近くて便利 ■ 駐車場が狭い ■ 福祉関係の相談がしやすい ■ 災害時に役に立つ ■ 港からは近い 		【アイデア】 コンセプト:行政・福祉・文化施設の統合-「統合」 ■ 健康福祉センターと市民センターを統合し、城崎振興局に集約	第2回WSまとめ 第5回WSまとめ
		03消防施設	城崎分署	<ul style="list-style-type: none"> ■ 豊岡より早く来てくれる ■ 港・城崎協力して来てくれる 		
02市民文化系施設	04コミュニティセンター	城崎地区 コミュニティセンター		<ul style="list-style-type: none"> ■ 城崎と港地区は風土・経済・気質等が異なる 	【アイデア】 コンセプト:コミュニティセンターは地域に一つという状態を堅持する-「継続」 ■ コミュニティセンターはそれぞれ現在の場所に残す	第2回WSまとめ 第3回WSまとめ 第4回WSまとめ 第5回WSまとめ
		港地区 コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> ■ コミュニティ組織 →部が6つあって事業をしている ■ 災害時の避難場所として良い施設 ■ トイレも空調もよい ■ 港西地区からは車がないと来れない ■ 港西いは港東に行かないぞというプライド 			
		06文化施設	城崎市民センター		【アイデア】 コンセプト:文化施設と健康福祉施設を集約して行政施設に統合することでスリム化し市民の利便性を高める-「移転」 ■ 健康福祉センターと統合し庁舎等へ集約	第4回WSまとめ
			城崎国際アートセンター	<ul style="list-style-type: none"> ■ 住民の利用料が高い(アーティスト無料) ■ 歩ける範囲で質の高いものが観られる ■ 一般の人は利用しにくい ■ 経済的には意味がありそう ■ 元々は、県が市に委託した施設 ■ 舞台の奥行きが狭い 	【アイデア】 コンセプト:これまで築き上げてきた市の演劇をはじめとするアート系文化を継承するため、大学あるいは民間のノウハウによりより有効で充実した運営を目指す-「譲渡」 ■ 文化施設を県立大学または民間に譲渡する	第2回WSまとめ 第4回WSまとめ 第5回WSまとめ

3-(1)地域デザイン懇談会で生まれた公共施設へのアイデア一覧

公共施設の分類		施設名称	議論に至った背景・理由 (利用状況など)	参考意見	アイデア	参考資料
大分類	中分類					
03社会教育系施設	07図書館	図書館城崎分館	<ul style="list-style-type: none"> 子どもにとってはよいが、大人にとっては本が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 性質が似ている施設は集約してもよいが、図書館は単独の施設としてあるべき 	【アイデア1】 コンセプト: 博物館・資料館を集約しスリム化を図る-「移転・統合」 ■博物館・資料館の統合 【アイデア2】 コンセプト: 図書館と博物館・資料館を1ヶ所に集約し、スリム化を図る-「移転・統合」 ■文芸館に麦わら細工伝承館、図書館を集約する 【アイデア3】 コンセプト: 博物館・資料館に床面積の過剰な健康福祉施設を集約して施設のスリム化を図る-「統合」 ■文芸館に麦わら細工伝承館、健康福祉センターを集約する 【アイデア4】 コンセプト: 床面積が過剰な健康福祉施設の建物を有効活用するため社会教育施設を統合する-「移転」 ■博物館・資料館は一つに集約し健康福祉施設に移設する	第2回WSまとめ 第3回WSまとめ 第4回WSまとめ 第5回WSまとめ
	08博物館・資料館	城崎文芸館	<ul style="list-style-type: none"> オシャレ 初めて来た人は楽しめる 	<ul style="list-style-type: none"> イベントをやると集客できる 歴史、伝統と地域の特性を学べる 		
		城崎麦わら細工伝承館	<ul style="list-style-type: none"> 歴史、伝統と地域の特性を学べる 	<ul style="list-style-type: none"> もともとあった城崎文芸館に移転統合する 地元の人のためにも展示に工夫がほしい 文化的価値は残したい(集約しない) 		
09社会教育系施設		ハチゴロウの戸島湿地	<ul style="list-style-type: none"> 常に無料で見られる 職員が二人常駐している 小学校3年生が学校で行く場所 	<ul style="list-style-type: none"> 豊岡市エコハウスと一体的に活用する 	【アイデア】 コンセプト: 近隣の施設とともに民間譲渡し、民間のノウハウを活用しながら一体的な利用を図る-「譲渡」 ■社会教育系施設を近隣の環境関連施設とともに民間に譲渡する	第2回WSまとめ 第5回WSまとめ
04保健・福祉施設	10健康福祉施設	城崎健康福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> 福祉の窓口 お風呂が使えない エアコンが壊れて3階が使えない デイサービスがなくなった 	<ul style="list-style-type: none"> 町内にあるのが大事、市民には必要 現行の業務内容では施設が大きすぎる 福祉施設として地域内に単体であるべき 	【アイデア1】 コンセプト: 床面積が過剰な健康福祉施設を博物館・資料館に統合することでスリム化を図る-「移転」 ■福祉施設を博物館・資料館に機能移転し集約する 【アイデア2】 コンセプト: 健康福祉施設と文化施設を集約して行政施設に統合することでスリム化し市民の利便性を高める-「移転」 ■市民センターと統合し行政施設へ集約 【アイデア3】 コンセプト: 床面積が過剰な健康福祉施設の建物を有効活用するため社会教育施設を統合する-「集約」 ■博物館・資料館を集約統合する 【アイデア4】 コンセプト: 福祉施設は単体で維持する-「継続」 ■単独の健康福祉施設として維持する	第2回WSまとめ 第3回WSまとめ 第5回WSまとめ

3-(1)地域デザイン懇談会で生まれた公共施設へのアイデア一覧

公共施設の分類		施設名称	議論に至った背景・理由 (利用状況など)	参考意見	アイデア	参考資料
大分類	中分類					
06スポーツ ・レク施設	16スポーツ 施設	城崎ポートセンター	<ul style="list-style-type: none"> ■ 円山川が活かせる ■ ボート用の室内練習場がある ■ 市民利用可 ■ 中学校にボート部がある ■ ポテンシャルはある 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 維持管理が負担 ■ 県が費用負担をし、市が管理委託を受けることにより維持管理費を軽減できる、また、ボートのまちを維持することもできる 		第2回WSまとめ 第3回WSまとめ 第5回WSまとめ
	18温泉施設	城崎温泉交流センター	<ul style="list-style-type: none"> ■ 民業を圧迫しないようにする必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 民業圧迫から民民で競争してよい施設に ■ 民間の自由な発想で経営するのがベター 	<p>【アイデア】</p> <p>コンセプト: 民間のノウハウを使って施設を有効利用-「譲渡」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地元事業者等民間に譲渡する 	第2回WSまとめ 第3回WSまとめ 第5回WSまとめ
07産業系 施設	19産業系 施設	木屋町小路	<ul style="list-style-type: none"> ■ ベンチや広場はパブリックな場所でもよい ■ 店舗がかわる。人が入っていない ■ スタートアップの店舗が集積 ■ 城崎の魅力を観光客へ向けて情報発信できる商業施設 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 民間事業者任せ、民間ノウハウを活用することで、自由なアイデアにより多様な人に向けた施設運営を目指すことができる 	<p>【アイデア】</p> <p>コンセプト: 民間のノウハウを使って施設を有効利用-「譲渡」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地元事業者等民間に譲渡する 	第2回WSまとめ 第3回WSまとめ 第5回WSまとめ
	20環境関連 施設	豊岡市エコハウス	<ul style="list-style-type: none"> ■ 役割を知っている人が少ない ■ 移住したい人が借りられる ■ 市民にも観光にも微妙 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 活用にあたっては、目的は環境に限らなくてもよい ■ 建物の価値はあるので民間に上手に活用してもらいたい 	<p>【アイデア1】</p> <p>コンセプト: 民間のノウハウを使って施設を有効利用-「譲渡」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 環境関連施設を近隣の社会教育系施設とともに民間に譲渡する <p>【アイデア2】</p> <p>コンセプト: 環境性能のよい建物を有効活用し、学生等の暮らす場所として利用する-「譲渡」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 県立大学に譲渡して学生のためのシェアハウスとして活用する <p>【アイデア3】</p> <p>コンセプト: 一定の役割を終えた環境関連施設は廃止する-「廃止」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 環境関連施設は廃止する 	第2回WSまとめ 第3回WSまとめ 第5回WSまとめ

3-(1)地域デザイン懇談会で生まれた公共施設へのアイデア一覧

公共施設の分類		施設名称	議論に至った背景・理由 (利用状況など)	参考意見	アイデア	参考資料
大分類	中分類					
08学校教育系施設	21中学校	城崎中学校	■地域の拠点でもある	<ul style="list-style-type: none"> ■子供をできるだけ身近なところで育てたい ■本当は地元に残してほしいが、先日の教育委員会の方針に同意する。(6年後に中学校、10年後に小学校統合の説明があった) ■子どもが少なくなっていく中で、学校を数を減らすことはやむを得ない ■統合はやむを得ないが、地域の文化的施設なので慎重に市民の意見を聞く必要がある ■地域に学校を残すことで郷土愛を育み将来地域を担う子どもを育てることができる ■子どものより良い成長・教育のことを第一に考えたい 	<ul style="list-style-type: none"> 【アイデア1】 コンセプト: 地区に1つの学校を残すために、それぞれの地区の小中学校を一貫校として統合し学校を存続させる-「統合」 ■城崎と港の小中学校をそれぞれ一貫校にし統合する 【アイデア2】 コンセプト: 地域全体に小学校と中学校を1校ずつ残すために、小中学校それぞれを統合して存続させる-「統合」 ■地域内の中学校・小学校をそれぞれ1校に統合する 【アイデア3】 コンセプト: 小学校は出来るだけ地域内に残したい。中学校は他地域と統合し、学校のスケールを維持することを優先する-「統合+移転」 ■中学校は豊岡地域内の中学校と統合し、小学校は統合して地域に1つ残す 	第2回WSまとめ 第3回WSまとめ 第4回WSまとめ 第5回WSまとめ
		港中学校	<ul style="list-style-type: none"> ■生徒が少なくて部活の選抜がほとんどできない ■津波の避難所になっている 			
	22小学校	城崎小学校				
		港西小学校	<ul style="list-style-type: none"> ■長い歴史があり愛着がある ■体育館も新しく校舎も使えるので、港西地区住民の交流の場として活用してほしい ■避難所として活用したい 			
		港小学校				
09子育て支援施設	26こども園	港認定こども園	■港西にあればよかった			第2回WSまとめ
	27放課後児童クラブ	港東・港西放課後児童クラブ				
	28その他子育て支援施設	城崎子育てセンター				
10公営住宅	28公営住宅	元薬師1号住宅	<ul style="list-style-type: none"> ■空き室が多い ■セーフティネットなので必要 	<ul style="list-style-type: none"> ■比較的新しい公営住宅に集約する ■空き家を活用して、市営住宅の入居者を減らしていく ■利用率が低いのが問題なので、利便性の高い、入居率を高められる公営住宅を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> 【アイデア1】 コンセプト: 公営住宅は老朽化したものから順次廃止し、住宅の取得が困難な人たちの住宅確保は、家賃補助など、建物整備以外の方法で行う-「廃止」 ■比較的古い公営住宅は、入居者がいなくなったら建替えない 【アイデア2】 コンセプト: 公営住宅は統合し、住宅の取得が困難な人たちの住宅確保は、家賃補助など、建物整備以外の方法で行う-「統合」 ■比較的新しい建物に順次集約していく 	第2回WSまとめ 第3回WSまとめ 第4回WSまとめ 第5回WSまとめ
		元薬師2号住宅				
		内島住宅				
		結1号住宅				
		結2号住宅				
		上山住宅				
		上山2号住宅				
		円山住宅				
津居山住宅						